

景観に配慮した設備の設置を 答弁II 周辺景観に配慮した設計をする



筒井 こうじ 議員

平成30年度当初予算に、にこ淵の歩道整備や駐車場の整備費が予算化されている。また、今後計画されている仁淀川周辺や本川地区などでの設備新築や改修も含めて、周囲の景観に配慮した設計に努めるべきではないか。

「グリーン・パークほどの」は、開場以来27年が経過し、入り込み客数が随分減少しているが、入場者増への対策を示せ。

また、各団体が独自に活動するより、連携を図り、情報を共有し、協調して取り組むことがより重要では

ないか。

久松副町長

階段工については安全面を考慮して施工し、駐車場の整備については景観に配慮した工事を行う。また、町内での整備については、周辺の景観に配慮した計画をしていく。

「グリーン・パークほどの」への入り込み客数増への対策は、県は平成31年2



にこ淵

月から、体験や自然を掲げた観光キャンペーンをしていくと聞いている。「グリーン・パークほどの」の魅力を再認識し、いの町観

光協会や仁淀ブルー観光協会と協力して取り組んでいく。

各団体などの情報連携は必要なので、町の地理的

好条件を生かし、県境を越えた市町村連携により、人や物の動きをつくり町の活性化につなげていく。

ブロードバンド整備

質問II 住民の署名をどう受け止めているのか 答弁II 今も重く受け止めている

筒井議員

町内の未整備地区において、技術的に無理な地域を除いて、調査を行ったと言われたが、技術的に無理との理由は。また、技術的に無理な地域とはどこか。

また、町内30か所で、無線LANによるスマホやブロードバンドのダウンロードのできる場所を調査した結果は3.27Mbpsから45.6Mbpsであったとのことだが、どのような箇所と条件で、調査されたのか。

業者より見積額が提示されたので、今年度から要望活動をしていくとのことだが、どのようにしていくのか。

平成29年、本川・吾北地区住民からの要望書につい

て、住民の76%と数の多さに驚くとともに、思いを強く受け止めたと答弁されているが、今の思いは。

池田町長

平成29年11月に総務省に出向き、要望をしてきたし、県情報政策課と協議し、補助金や他市町村の整備状況などの情報交換を行うとともに各携帯無線電話会社から、エリアや料金などの聞き取りを行った。見

積業者の説明では、光ブロードバンドは各電話局の基地局からの距離や地形により、光の減衰が大きくなり、サービスの提供ができない地域が出てくるのとどこであった。他市町村ではサービスの提供できない地

域においては、無線ルーターの補助を行って対応している。

技術的に無理な地域名については、見積り段階で検討中なので控える。

調査の条件は、屋外で晴れの日に実施した。あくまで目安ととらえている。

経過報告は各地区での区長会などで報告してきた。

住民の意識調査は、今回の見積り業者より、業者所有の調査資料があるので必要ないとのことであった。

本川・吾北地区住民の要望は重く受け止めているので、情報格差の是正に向けて、国や県に補助の拡充に向けて要望を行っていく。